

セルロースファイバー断熱材は どんなところがいいの？ さらに

防音する断熱材 ふかふかな繊維質が内部の音漏れ、外部の騒音を防音！

音は重いものに遮られると聞こえにくくなります。セルロースファイバーは壁に55kg/m³程度入り、重量がしっかりしているため、音を伝えにくくします。ふかふかな繊維質が音を吸音します！

日常とセルロースの共通の防音イメージ

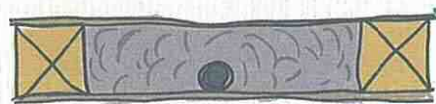


ふとんの中で大声を出しても声が聞こえません。

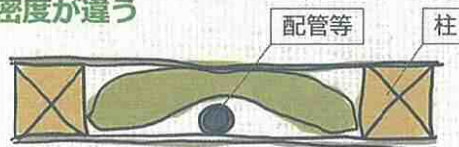


多くの孔のポケットを持ったコンクリートが吸音の役目をしています。

吹き込みで隙間なく施工できるため密度が違う



セルロースファイバー
密度 55kg/m³



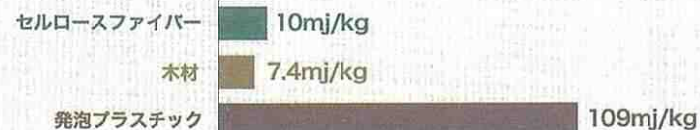
グラスウール
密度 10~24kg/m³

セルロースファイバーは他の断熱材と違い、吹き込んで施工をおこなうため、隙間がほとんどありません。そのため、音漏れのようなことがなくしっかりと防音できます。

エコな断熱材 木を原料とした製造エネルギーが小さい断熱材です。

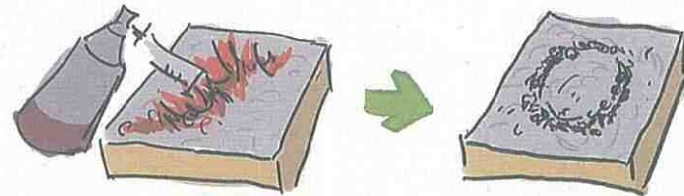
セルロースファイバーは製造エネルギー（エンボディド・エネルギー (mj/kg)）が極めて少ないです。発泡プラスチックに比べて 1/10~1/11 です。食品のフードマイル、木材のウッドマイルと同じでエネルギーが少ない方がエコです。また、光熱費を抑えることで地球環境に優しい生活をおくることができます。

■製造にかかるエネルギー



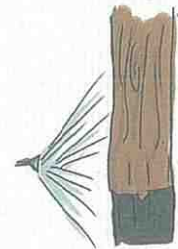
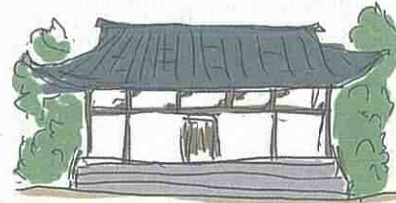
防火する断熱材 万が一の火災でも火が燃え広がるのを防ぐ働きがあります。

セルロースファイバーはホウ酸の効果で自己消火性を持つため、火が燃え広がるのを防ぐ働きがあります。



バーナーで 1000℃の火で燃やしたセルロースは黒く炭化するだけで、火元を離すと鎮火し、燃え広がりにません。炭化したセルロースをめくると、内部に火は燃え広がっておらず、防火性能があることがわかります。

ホウ酸を使用した防火例



※イラストはイメージです。

日本を代表する神社や仏閣の木の柱、壁にホウ酸を塗って、万が一の火災時に火が燃え広がり、全焼してしまうのを防いでいます。（ホウ酸を木にしみこませたものは防火効果があります。）

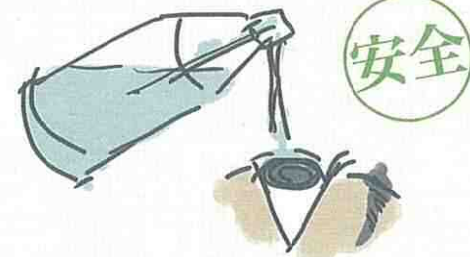
防虫する断熱材 女性も安心！防虫効果でもうイヤな虫とはサヨナラ。

ホウ酸が配合されているので虫がいやがります。床に、壁に、天井にセルロースが入っていると、外から虫が入りにくくなり、また弱い殺菌性があるので、カビも生えにくくなります。ホウ酸はシロアリに対する防蟻処理にも使われています。

ホウ酸って何？



ゴキブリ団子はホウ酸が入っています。ゴキブリがイヤがる力があります。（ホウ酸団子：ホウ酸 35% 配合）



水に溶いて、ものもらいの時に目を洗うのに使います。薬局でも売っています。（ホウ酸水：ホウ酸 3%程度配合）